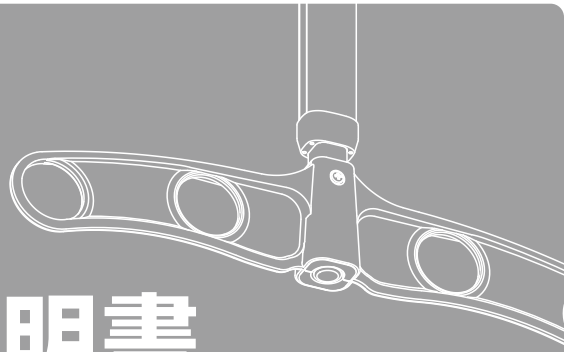
DRY・WAVE®
ドライ・ウェーブ

TD6090/TD4560

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

施主様用



取扱説明書

吊下げ型可動式物干金物

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、
お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容をよく理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補 足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

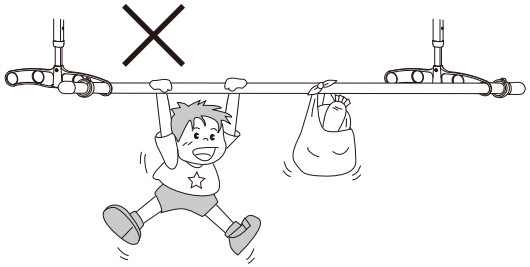
●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前に
この取扱説明書を最後までお読みください。

1 安全のために必ず守ってください。

⚠注 意

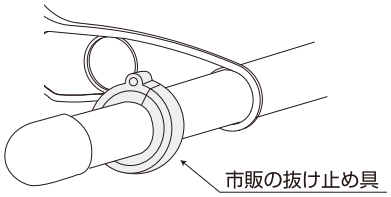
●竿掛け以外の用途には
使用しないでください。
物干しが破損してケガをする
おそれがあります。

●竿掛け本体及び物干竿に乗ったり、
ぶらさがらないでください。
落下してケガをするおそれがあります。



⚠注 意

●竿の落下防止のため、物干し竿の両端に市販の
抜け止め具などを使用してください。
操作が左右交互になるため、
竿が滑り落ちケガをするおそれがあります。



⚠注 意

●竿掛けの操作は両手で操作してください。
急落下する等し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

2 使用方法

ご注意とお願い

⚠警 告

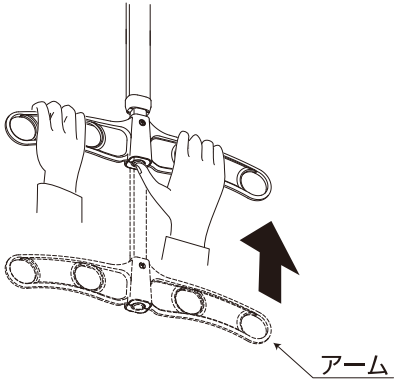
●必ず物干し竿を使用してください。ロープやひもを掛けて使用すると、竿掛け本体の破損や故障の原因になります。
●本製品 1 セット（2本で）の耐荷重は 15kgです。
それ以上の重量物を掛けると、竿掛け本体の破損や落下によるケガをするおそれがあります。
●竿掛けの高さ調整は、正しい操作方法で操作してください。無理な操作は、竿掛け本体の破損や故障の原因になります。

2 使用方法

■ 竿掛けの可動方法（両手で操作）

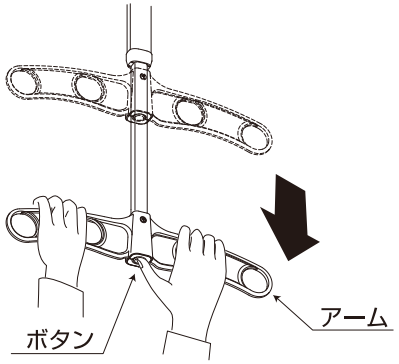
1 アームを上に移動させる場合

●アーム下部を手で支えた状態で、ボタンを押して１段ずつ上げてください。
●ボタンを押しながらアームを押し上げて「カチッ」と鳴った位置が、
固定位置となります。（15ｃｍ間隔）



2 アームを下に移動させる場合

●アーム下部を手で支えた状態で、アーム下についている
ボタンを押しながらアーム最下段まで下げてください。



3 お手入れについて

1 汚れの取り方

●年に２～３回水洗いをして拭きとってください。
a. 汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、空拭きをしてください。
b. 汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないように
よく水洗いをして拭きとってください。

〈注意〉工業地域又は、温泉地域、沿岸付近にお住まいの方は、台風通過後は、必ず水洗いしてください。
（塩分を含んだ雨・風にさらされている可能性があります。）

お 願 い

●シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはげたり、屋根材が変質する
ことがあります。

2 キズの補修

● あやまってキズをつけた場合、市販のアルミ補修塗料で補修してください。
放置すると腐食の原因になります。

4 修理

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）にお問い合わせください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電話番号	
施工店名		そ の 他	

（施工者様用）

DRY・WAVE® ドライ・ウェーブ

TD6090/TD4560

取付説明書 ―吊下げ型可動式物干金物―

●このたびは、お買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容をよく理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	記号の意味
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

〈施工の前に〉

⚠警 告

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●本製品1セットの耐荷重は、竿を含めて15kgです。

〈施工上のご注意〉

⚠注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
・特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業行程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

〈施工上のご注意 つづき〉

⚠注 意

●給湯機や暖房機等の熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。
排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

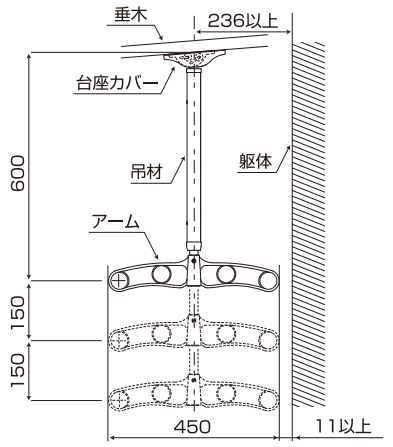
◆梱包明細表

名 称	略 図	員数
吊材		2
アーム		2

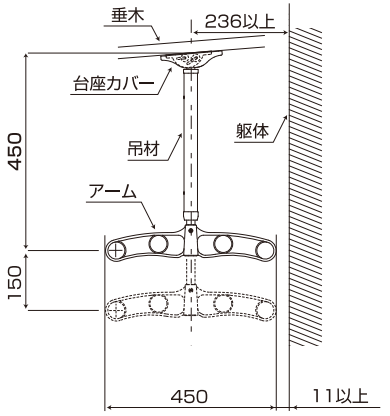
名 称	略 図	員数
台座カバー		2
M4×10 トラスネジ		2
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1

・躯体に取り付けるファスナー類は、**別売り**です。
・下地・取付方法に応じたファスナー（ネジ・ボルト・アンカー等）をお求め下さい。
・当社でも取付ファスナー類をオプションとしてご用意しております。

1 基本寸法と各部名称

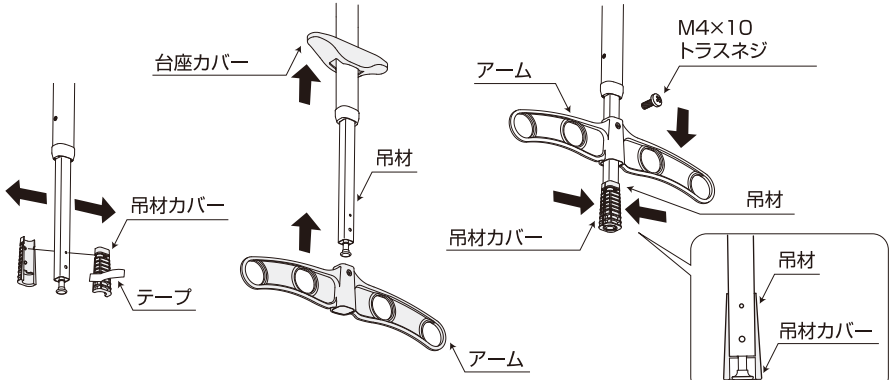


TD6090



TD4560

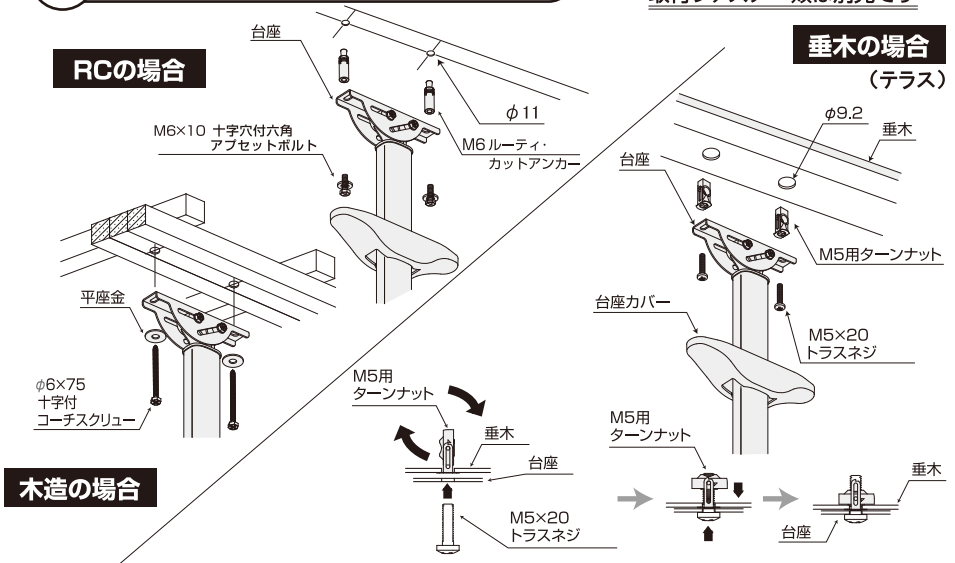
2 竿掛け組立



①吊材を伸ばしてからテープで仮止めされている吊材カバーを取外してください。
②台座カバーを先に入れてください。
③吊材にアームをはめ込んでください。
④取外した吊材カバーを吊材に取り付けて、アームを下げ M4×10トラスネジで固定してください。

3 台座の取付け ※施工例

取付ファスナー類は別売です



①竿掛け本体の取付け位置を決定して垂木にφ9.2の穴をあけてください。
②台座を垂木にM5用ターンナット、M5×20トラスネジ で取付けます。
③台座カバーを台座にはめ込んでください。

ポイント

● 手回しドライバーで締め付け、竿掛け本体を確実に固定してください。

躯体別取付パーツ表 （オプション）

RC の場合： TC/TD/TE 用カットアンカーセット

名　称	略 図	員 数
M6 ルーティ・カットアンカー		4
M6×10 十字穴付六角アブセットボルト		4

木造の場合： TC/TD/TE 用六角コーチスクリューセット

名　称	略 図	員 数
Φ6×75十字穴付六角コーチスクリュー		4
平座金		4

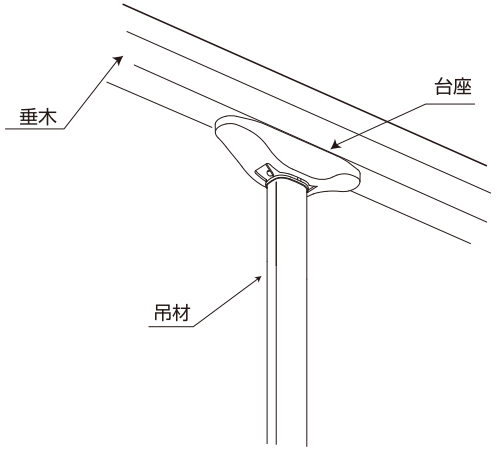
テラス垂木の場合： TC/TD/TE 用ターンナットセット

名　称	略 図	員 数
M5用 ターンナット		4
M5×20トラスネジ		4

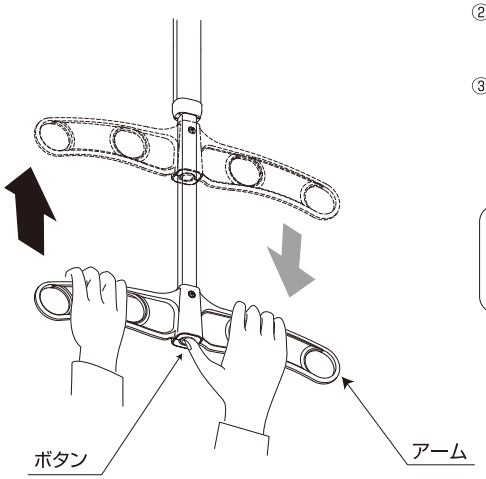
※垂木形状により取付けできない場合があります。

躯体別取付パーツは、**別売りです**。
下地・取付け方法に応じたファスナー(ﾈｼﾞ・ﾎﾞﾙﾄ・ｱﾝｶｰ等)をお買い求めください。
当社でも躯体別取付パーツをオプションとしてご用意しております。

4 竿掛けの取付け状態



5 竿掛けの可動確認（両手で操作）



■ アームを上下に移動させる場合

①アーム下部を手で支えた状態で、ボタンを押して１段ずつ上げてください。
②ボタンを押しながらアームを押し上げて「カチッ」と音が鳴った位置が固定位置となります。（15ｃｍ間隔）
③アーム下部を手で支えた状態で、アーム下についているボタンを押しながらアーム最下段まで下げてください。

ポイント

●可動範囲は「1.基本寸法と各部の名称」を参照してください。